

世界地図についての共感覚

岩崎 純一

2014年2月25日作成

掲載サイト:「岩崎純一のウェブサイト」

<http://iwasakijunichi.net/>

目次

1. 解説と共感覚のポイント
2. アジア各国の共感覚色
3. ヨーロッパ各国の共感覚色
4. 北アメリカ大陸各国の共感覚色
5. 南アメリカ大陸各国の共感覚色
6. アフリカ各国の共感覚
7. オセアニア各国の共感覚色

1. 解説と共感覚のポイント

私は、世界地図についても共感覚を持っています。ここでは、各都道府県・市町村・山脈・湾・湖などの領域の形状（県境や海岸線の形状）に色が付いて見える共感覚を、地図に色を付けることで紹介します。（逆に、共感覚色によってこれらの領域の形状や位置などを記憶しています。）

また、各国の首都・主要都市名・国旗・民族構成・言語分布・言語の文法なども、主に共感覚によって記憶しています。

これらの共感覚のほとんどが、幼少期・児童期に地図帳などの教材や図書館の世界地図を眺めていて身についたものです。

同じく地図関連の共感覚として、別掲の「日本地図についての共感覚」もご覧ください。

※ 次ページ以降のポイント

○地図帳などで地図の形状を眺めていて身についた共感覚ではあるものの、共感覚色はそれらの地図帳に印刷された地図の色とは異なっていることが確認できている。

（共感覚の色彩は独創である。）

○「日本地図についての共感覚」の解説では、領域の形状以外の概念（故郷への愛着・こだわりなど）が共感覚色に影響している都道府県も散見される旨を記したが、世界地図については極めて直観像記憶的な共感覚によって知覚・認知しており、例えば「グリーンランド」が「緑色」であるような例も散見されるものの、偶然の一致にすぎないと考えられる。（そのような自覚もある。）

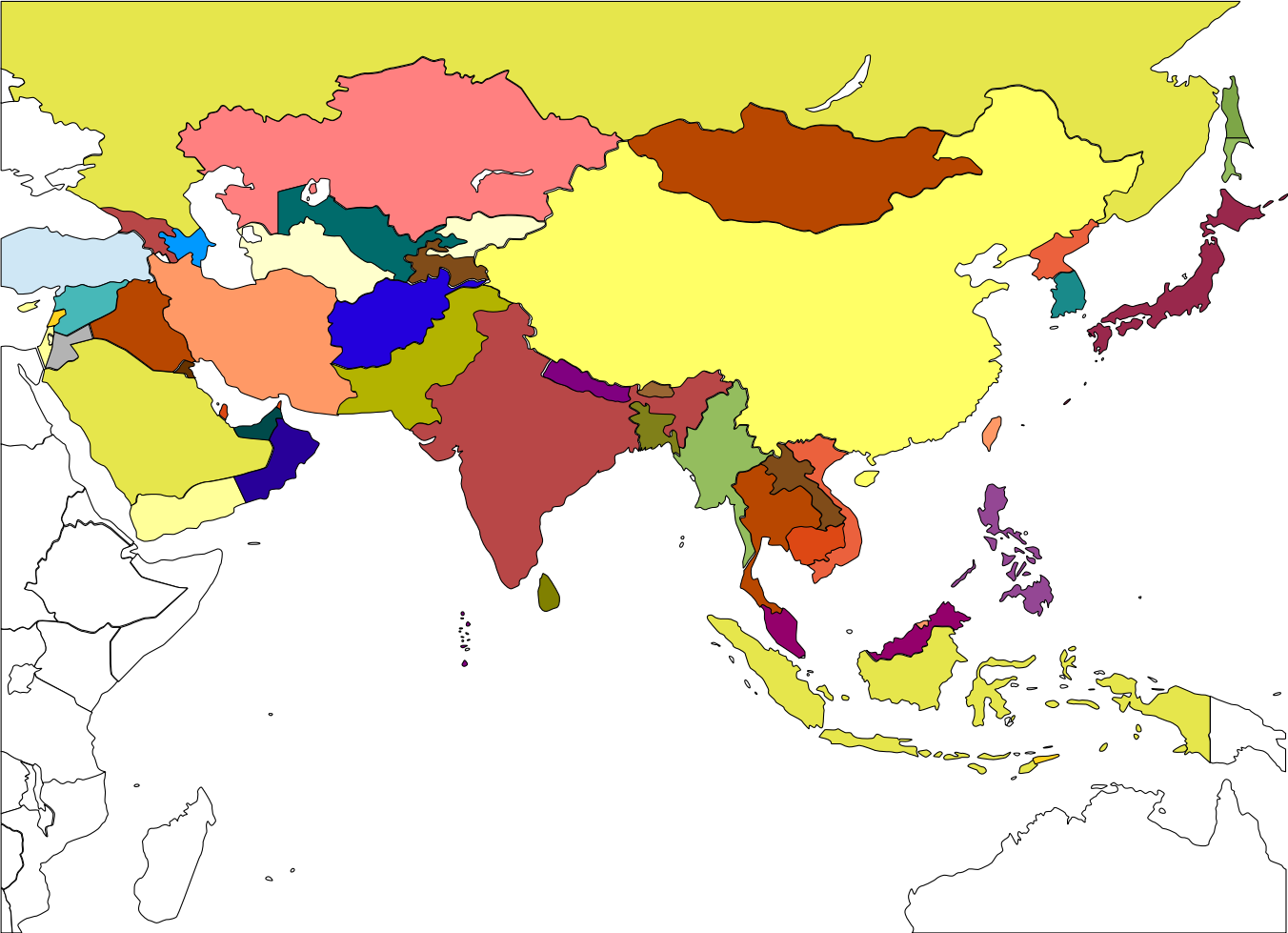
○サイト内の「直観像記憶と共感覚」のページも参照されたい。

【画像引用元】

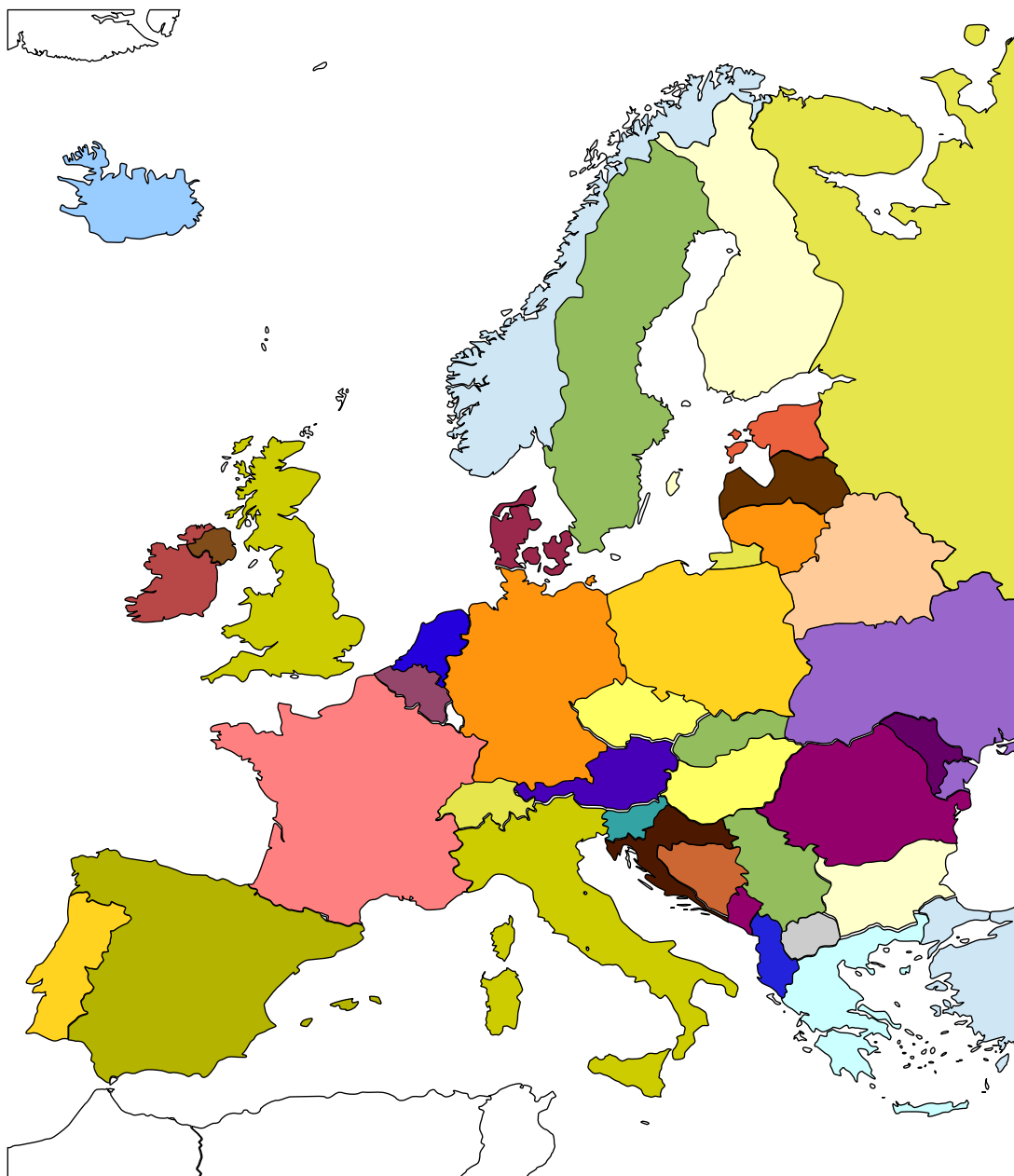
白地図専門店

<http://www.freemap.jp/>

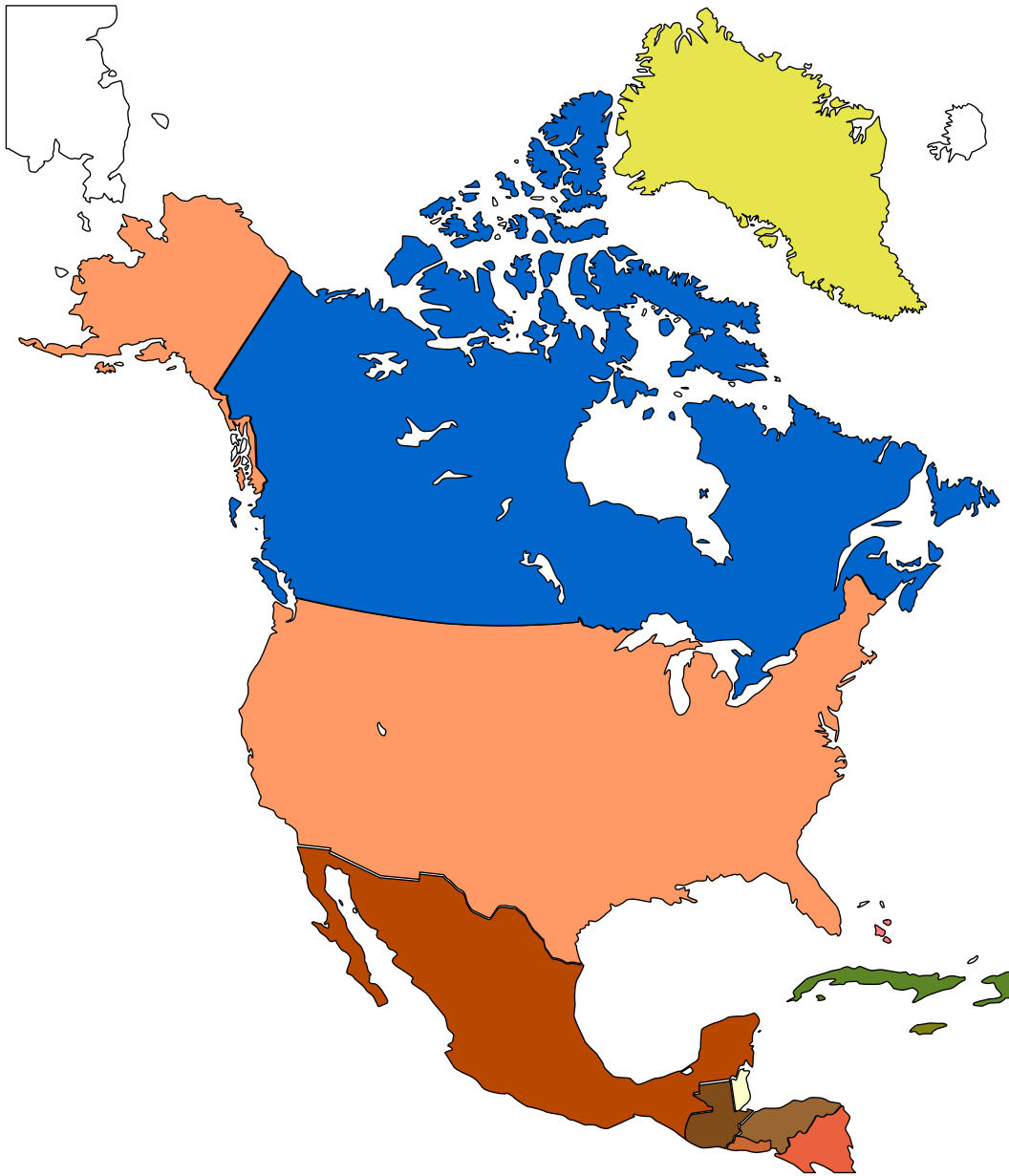
2. アジア各国の共感覚色



3. ヨーロッパ各国の共感覚色



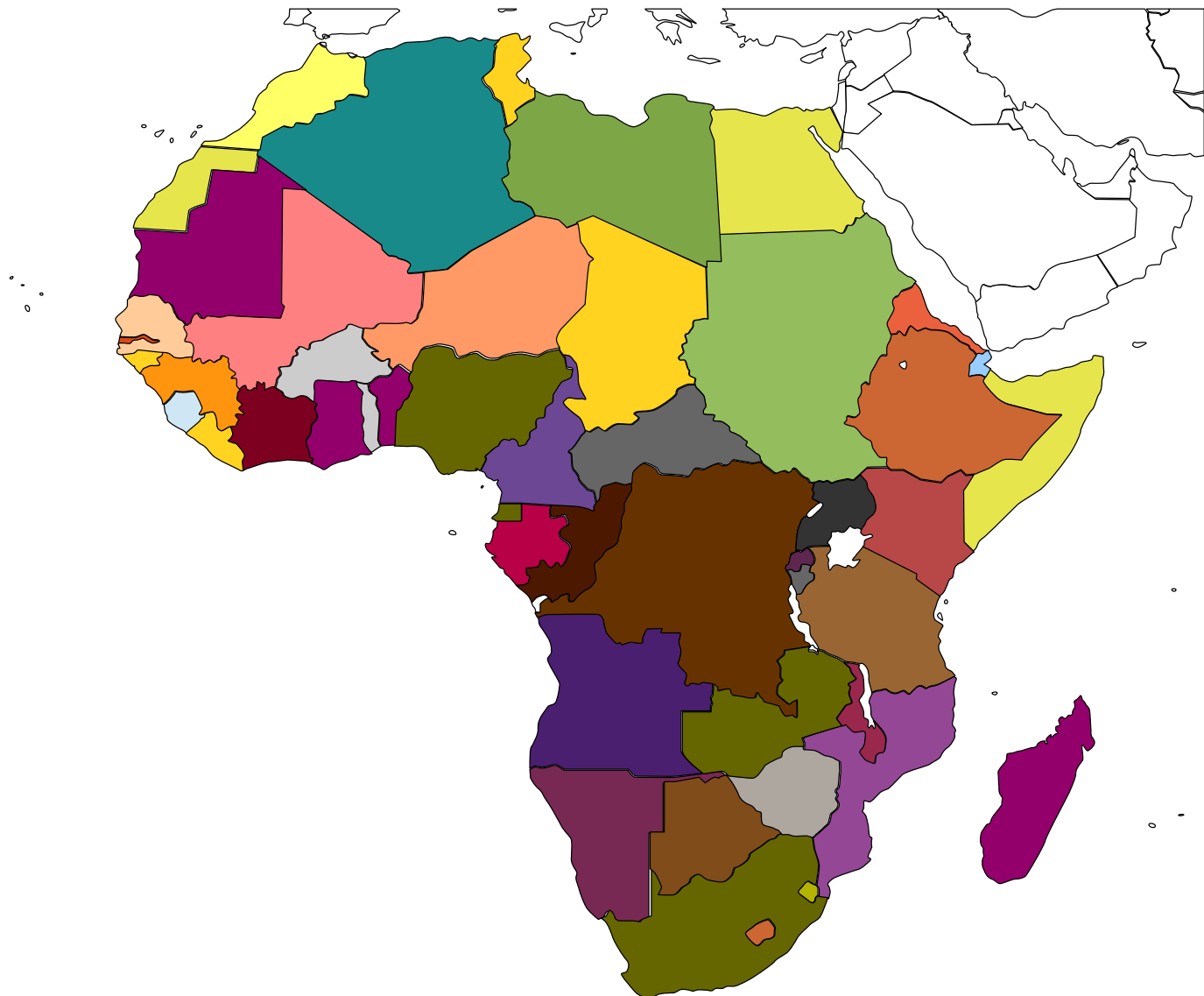
4. 北アメリカ大陸各国の共感覚色



5. 南アメリカ大陸各国の共感覚色



6. アフリカ各国の共感覚



7. オセアニア各国の共感覚色

